

令和5年

駒ヶ根市教育委員会 第4回定例会

会 議 録

駒ヶ根市教育委員会

## 令和5年駒ヶ根市教育委員会 第4回定例会議事日程

告示年月日 令和5年3月10日（金曜日）

開催年月日 令和5年3月20日（月曜日）

開催場所 駒ヶ根市役所 南庁舎2階 大会議室

開会時刻 午後1時59分

閉会時刻 午後2時57分（58分）

- 1 開会
- 2 教育長報告
- 3 事業報告及び事業計画
  - ・次回定例教育委員会 4月25日（火）14時～保健センター2階 大会議室
- 4 審議案件
  - 議案第1号 駒ヶ根市青少年育成委員の委嘱について
  - 議案第2号 駒ヶ根市スポーツ推進委員の委嘱について
- 5 協議事項
  - なし
- 6 報告事項
  - （1）令和5年度公益財団法人駒ヶ根市文化財団の事業計画及び予算について
  - （2）令和5年度一般財団法人駒ヶ根市給食財団の事業計画及び予算について
  - （3）令和5年度子ども課年間事業計画（年暦）について
  - （4）行事共催等承認申請の専決処分について
  - （5）駒ヶ根市教育委員会事務局関係職員人事異動について
- 7 その他
  - （1）令和5年度市内小中学校入学者数について
- 8 閉会

出席者 く

教 育 長	本 多 俊 夫
教育長職務代理者	福 澤 惣 一
委 員	唐 澤 浩
委 員	木 下 健 一
委 員	山 田 恵 美

欠席者

なし

委員以外で会議に出席した者

教育次長	北 澤 英 二
子ども課長	赤 羽 知 道
社会教育課長	宮 下 る み
学校教育係長	水 野 毅
教育総務係長	中 嶋 英 貴
教育総務係	竹 田 正 樹

傍聴： 0人（うち報道機関0人）

## 会議のてんまつ

### 議事日程記載のとおり

午後1時59分 開会

#### 1 開会

○本多教育長 改めまして、こんにちは。(一同「こんにちは」)

令和5年駒ヶ根市教育委員会第4回定例会に御参集いただきましてありがとうございます。

一、二分早いですが、皆さんおそろいですので、ただいまから始めたいと思います。

よろしく申し上げます。

#### 2 教育長報告

○本多教育長 初めに、赤中の校長から先ほど連絡がありまして、最後の卒業生に卒業証書を渡したと、当日じゃないですけれども、事情があって今日渡すことができたということで説明がありました。

また、せんだって行われた高校入試の発表がございまして、赤中のほうで1人チャレンジしたのだけれども、という子がただけで、あとは赤中、東中とも全員合格ということでありました。驚異的な数字じゃないかなというふうに思います。聞きましたら、やっぱり3年の学年主任を中心にしながら、点数を取るだけの人間じゃない、ふだんの生活もしっかりしろということ日々を送ってきたということです。さもありなんということで、非常にありがたく思っているところであります。

それでは、本日が平成4年度としては最後であります。

1ページのところにちょっと書かせていただきましたが、「山路来て なにやらゆかし すみれ草」これは芭蕉の有名な句ですけれども、ああ、そんな時期なのだなあと、送る、迎えるという、ちょっと切ないような、いつも体の中が騒々しくなって不安定になりがちな、そんな時期であります。新しい心に期待を持って臨みたいなというふうに思います。

さて、「先達の教え1」のところでは。

私は、今、塩野七生さんの本に凝ってしまっているか……。 「ローマから日本が見える」ということで、ローマのほうにメインで住んでいる方です。今年で86歳になるのだそうですけれども、女性です。当たり前と言えば当たりのことを書いているのですけれども、紀元前からローマ帝国はあったわけですけれども、ローマ人のすごさというのを語っています。

それで、ローマのほうから日本を見たときに日本がどう見えるかということで、最初のところの丸に書いてあるのですけれども、ローマ人はなんでそんなにすばらしいかと言ったら「同時代の他の民族と違ったのは、自らの失敗を認めた時にも改革を行う勇気を失わなかったところである。ローマ人は、自分たちのありのままの姿を直視し、それを改善していこうという気概があった。」と、それがずっと続いていたということでもあります。

マキャベリも参考にしたり、ローマ人が自己改革を行うのは本当に2000年後の現代の私たちにも参考になるのではないかなというようなことで本を書いているわけです。

時間もありませんので、ざっとアンダーラインを引いたところだけ読みます。

「誰もが賛成するような改革は、改革ではない。」と、「改革とは「過去の否定」ではない。」と

というようなことを言っております。

また、「そもそも生身の人間の行いに、欠陥がないわけがない。」と、そんな心持ちで臨まないといけないというようなことが書かれています。

その下、「子どもの教育に力を入れない国は滅びる。」と明言しております。

また、「まず自分たちが置かれている状況を正確に把握した上で、次に現在のシステムのどこが現状に適合しなくなっているのかを見る。そうする中で初めて「棄てるべきカード」と「残すべきカード」が見えてくる。」、社会や学校も全く同じじゃないかなというように思います。縦並び横並びだけをやっているようでは駄目だなということもここからも感じます。

最後にはゲーテの言葉を引き合いに出して「ローマ史を読むなら、ローマの皇帝になったつもりで読め」というふうに言っております。このところは、子どもを知るには子どもになったつもりで子どもを知ろうとせよと言っているかなと思い、言い得て妙なすばらしい箴言(しんげん)であるなと私は思っています。

次に、「なるほど」で、私になるほどなと思ったところでございます。

渡部暁斗さんはノルディック複合の選手で、バンクーバーオリンピックにも出て、ワールドカップではキング・オブ・スキーということでチャンピオンにもなった人ですが、「ウィナーではなく王道を突き進むチャンピオンでありたい」と言っています。

そもそも白馬で生まれた人ですけれども、2人の先輩の言葉に自分は支えられた、勇気づけられたということで、1人目は担任の先生で、小学校の大会で優勝したときに「井の中のカワズ大海を知らず」と、それだけ言っただけだそうです。当時は分からなかったけれども、本当にこの言葉が年とともに分かるようになったということです。

2人目は1つ上の先輩で、活躍していた先輩の言葉で高校選択の1週間前に進路を変更したということです。白馬高校は厳しい環境だけれども、本気で将来を考えるなら白馬高校へ来たほうがいいよというふうにアドバイスしてくれたそうです。

それはどういうことかという、渡部さんはインターハイの優勝者を輩出するような強豪校への進学をもう決めていたそうですけれども、その先輩は強豪校の選手たちと合宿やなんかで行き会ったことがあり、そのときにその生徒たちはコーチから言われたことをただやっているだけで何にも考えていなかったよというふうに言われたと、それに対して自分が今やっている白馬高校は特定のコーチもいなくてトレーニングも全て自分たちでやるのだけれども、環境は厳しいかもしれないけれどもやりがいがある学校だよというふうにアドバイスしてくれたので、1週間前にぱっと変えて白馬高校に行ったということです。

そもそも渡部さんは今までも自分で全て計画を立てたりしてやっていたので、これはぴったりだったということを行っています。

さらに2つ目の丸ですけれども、実際にヨーロッパのほうの大会の途中、目の前でフランスのジェイソン・ラミー・シャプイというバンクーバーオリンピックの金メダリストがトップ争いをしていて、イタリア選手のストックを踏んでしまってぼっきり折れてしまったと、普通だったらそのまま行っちゃうけれども、そういうときには必ず別のストックやなんかをもらって次を走ってもいいということになっているのですが、その準備ができるまでちゃんとそばで待っていて、それで同時にまたそこからスタートしたということで、ああ、これこそ人としてもすばらしいということで、その一部始終を目の当たりにして、冒頭で言ったような真のチャンピオンになりた

いと、そういう志を深くしたということでもあります。

最後に、「しかし、すべてはトライ＆エラーの繰り返しであり、エラーが多いのは、それだけ積極的にトライを重ねた結果。様々なことに好奇心を持つこと。そして自分のやっていることに常に疑問を持ち、現状に止まらないことが大事。」と、若い人たちは「自分を過小評価せず今よりもっと踏み込んで可能性に挑戦し未来を切り開いてほしい。」と、こんなふうにしてまとめてありました。

要するに、一度自分がなりたい理想像が見えたらとことん追求することだと、失敗を恐れなくてチャレンジし続けろよと言っているアドバイスだと受け取っているわけです。

実は、今日11時半に駒ヶ根の赤穂中出身の大蔵こころさん、今は早稲田大学の1年生で、高校は愛媛県の高校だったのですが、その子が市長を表敬訪問に来まして、私も同席させていただきました。

自転車競技なのですけども、渡部選手と全く同じ状況で、今は誰とどんなふうに練習しているのかと聞いたら、全部自分で計画してやっていると、それで、早稲田大学に入っても自分でトレーニングなどを積んでいたと、ただ、たまたま今月ですかね、コーチがついて、ちょっとアドバイスをさせていただいているのでというようなことを言っておりましたけれども、非常に明るい子です。

それは、渡部選手みたいな世界に通用するすごい人がそうなんだよではなくて、私は渡部選手が内から育つ究極的な姿だと思っていますが、そのいい例が駒ヶ根市にもありますよということをお話したいということです。だから、まるで雲の上のような、そんなような話ではないと、内から育つとこうした自立した人間になるといういい例ではないかなというふうに思っております。

最後でございますが、「ちょっと立ち止まって」のところですよ。

3月の最後の校長会で各学校の内から育つ姿の具体例を発表していただきました。その発表する校長たちの姿が、非常にしゃべりも滑らかで、うれしそうに話すところが非常に私としても好感触を得ました。やっぱり子どもが内から育つ姿を見るというのは育てる側としても本当にうれしいことなのだろうと、校長先生方の姿からも感じたところであります。

これからも追い求めていきたいなあと、内から育つひたむきな子どもを育てたいと思ったところであります。

最後になりましたけれども、本年度も教育委員の皆様方には、駒ヶ根市の子どもたちのために、また教育のために取り組んでいただきまして、本当にありがとうございました。

来年度もお世話になります。よろしく願いいたします。

### 3 事業報告及び事業計画

○本多教育長 それでは事業報告及び事業計画、お願いします。

○北澤教育次長 事業報告及び事業計画資料により説明

○本多教育長 ただいまの事業報告及び事業計画について、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

#### 4 審議案件

##### 議案第1号 駒ヶ根市青少年育成委員の委嘱について

○本多教育長 それでは審議のほうに入りたいと思います。

駒ヶ根市青少年育成委員会の委嘱について、お願いします。

○宮下社会教育課長 お願いいたします。

5ページをお開きください。

駒ヶ根市青少年育成センター設置要綱第4条の規定により下記の者を駒ヶ根市青少年育成員に委嘱するというので、本日付で提出をいたします。

氏名等につきましては、めくっていただいて6ページになります。

2年任期の2年目を迎えるに当たりまして、在任期間の「1」のところに丸をつけている委員の方が5人いらっしゃいますけれども、諸事情によりまして1年で退任ということで、こちらの5人の方が新しく替わられます。その方について令和5年4月1日から残任期間であります令和6年3月31日までを任期としまして青少年育成委員を委嘱するものでございます。

説明は以上でございます。

○本多教育長 ここに①と書いてある人が急遽替わったということですね。

○宮下社会教育課長 そうですね。2年任期のところを1年で退任されましたので、2年任期の残任期間の1年間について委嘱をするものでございます。

○本多教育長 そのような説明でございますが、御意見、御質問等ありましたらお願いします。

〔発言者なし〕

○本多教育長 このようにお認めいただけますでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 ありがとうございます。

##### 議案第2号 駒ヶ根市スポーツ推進委員の委嘱について

○本多教育長 続きまして駒ヶ根市スポーツ推進委員の委嘱について、お願いします。

○宮下社会教育課長 お願いいたします。

7ページを御覧ください。

スポーツ基本法第32条並びに駒ヶ根市スポーツ推進委員規則第3条及び第4条の規定により下記の者を駒ヶ根市スポーツ推進委員に委嘱するというものでございます。

こちらのスポーツ推進委員の任期につきましては2年間ということで、令和5年度・6年度、新たに2年間の推進委員を委嘱するものでございます。

1のところにある推進委員の皆さん、全部で10名の方ですけれども、委嘱年月日は令和5年4月1日、任期は令和5年4月1日から令和7年3月31日までの2年間の任期となります。

1枚めくっていただきまして8ページのところに詳しい名簿がございます。

右から4つ目のところに活動年数がございますけれども、長い方は30年、それから一番下の福澤さんと戸澤さんについては今度新規に推進委員に推薦をされてきた皆さんでございます。

説明は以上でございます。

○本多教育長 2人が新人ということですね。

○宮下社会教育課長 はい。そうです。

○本多教育長 それぞれの体育協会の推薦もございますので、お認めいただけますでしょうか。  
〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 ありがとうございます。

## 5 協議事項

なし

## 6 報告事項

### (1) 令和5年度公益財団法人駒ヶ根市文化財団の事業計画及び予算について

○本多教育長 協議事項はございませんので報告事項に移ります。

令和5年度公益財団法人駒ヶ根市文化財団の事業計画及び予算について、お願いします。

○宮下社会教育課長 お願いをいたします。

ページは10ページをお開きください。

令和5年度の公益財団法人駒ヶ根市文化財団の事業計画及び予算について説明をさせていただきます。

まず事業計画でございます。

文化財団がこれまでの経験で養った地域社会や関係団体との信頼計を基盤に、各分野にわたる職員の専門知識と技術をもって管理運営する5館について市民サービスの向上を図るよう取り組んでまいります。

指定期間につきましては、総合文化センターが再指定の5年間の3年目、それから天竜かっぱ広場は今年度から新たに3年間の1年目の指定管理となります。

その下の1 総合文化センターになります。

文化センターにつきましては、開館から37年目となる設備等の老朽化が相当進行しております。近い将来実施される大規模改修工事に向けて計画策定を進めてまいります。

(1)の文化会館の部分でございます。

自主事業を計画しております、年間17本程度の事業を実施しまして8,000人程度の観客動員を目指してまいります。

自主事業の内容につきましては13ページを御覧ください。

予算につきましては1,000万円の予算で実施をしてまいります。

上の市民参加型のところから主要なものを説明させていただきます。

郷土芸能まつり、市民音楽祭については、これまで2年ほどは収録でやっておりましたけれども、令和5年度には通常の観客を入れた形で上演ができるように計画をしてまいりたいと思います。

また、教育型、育成型のところにありますジュニア和楽器講座、それからアンサンブル信州in 宮田の演奏会につきましては、小学生を対象にして実施をする予定でございます。

また、その下の地元文化団体共催の事業でございますけれども、伊南子ども劇場さん、それから駒ヶ根音楽文化協会さんと共催で、クラシックでありますとか子どもファミリー向けの公演を実施してまいりたいと思います。



その下の鑑賞型の部分ですけれども、公演日が未定の部分がございますけれども、TSUKEMENというところは、クラシックですけれども、さだまささんの息子さんが入られているバイオリンとピアノの3人のグループでございます、ふだんはなかなかクラシックになじみのない皆さんにも文化センターのほうへ来てそういうものに親しんでいただきたいというような趣旨でございます。

また、さかなクンの講演会につきましては家族で楽しんでいただけるような催しをとということで企画しております。

その下の漫才ですけれども、ずっと落語の講演をしておりましてけれども、市民の方の声の中に落語については市内のほかにもやるところがあるのでというような声もありましたので、今回は漫才に絞った形での講演とさせていただきます。

それから、一番下の川井さんのバイオリンのコンサートですけれども、市民からこういう方という要望もございまして、今年度につきましては川井さんのコンサートのほうを実施してまいります。

全体の事業収益、それから事業費のところがございますけれども、1,000万円の予算の中でチケット収入を見込みまして事業のほうを実施してまいります。

戻っていただきまして11ページをお願いいたします。

(2) 図書館になります。

図書館につきましては、駒ヶ根市教育大綱、それから第4次駒ヶ根市子ども読書活動推進計画を基に事業を進めてまいります。

ブックスタート事業等を通して乳幼児、児童の読書活動の支援を行ってまいりたいと思います。

また、高齢者や障がい者の方々も安心して使える図書館を目指してサービスや施設の充実を図ってまいりたいと思います。

下から3つ目のアスタリスクですが、「今後、拡大されていくことが予想される書籍の電子化に向け、利用者にとって利便性の高い電子図書館についての研究を進めていきます。」ということで、今年度から県と19市が一緒になって進めている電子図書館について、駒ヶ根市もさらに協力して進めていきたいと思っております。

(3) の博物館でございます。

「収蔵する126千点の資料の適正保存と、その有効活用や教育普及事業への活用を検討します。」ということで、保存、それからそれを皆さんに知らせるといような活動をしていきたいと思っております。

3つ目のところですが、駒展実行委員会と連絡、協調し、駒展をより充実して開催してまいります。同時開催のジュニア駒展も充実させていきたいと思っております。市内小中学生の作品を取り上げてまいりたいと思っております。

その下のところ、郷土館、旧竹村家、民俗資料館の展示内容や今後の活用方法についても関係機関と検討を重ねて整理をしてまいりたいと思っております。

次に(4)の地域交流センターのホール―赤穂公民館のホールになります。

赤穂公民館のホールにつきましては、発表会などの高度な舞台展開が必要なものについては文化財団が舞台運営を指定管理で担っております。赤穂公民館と連携を密にして、より市民の皆さんが使いやすい舞台運営に心がけてまいりたいと思っております。

次に12ページをお願いします。

2 天竜かっぱ広場でございます。

所蔵するかっぱの諸作品や中村家の宝物を生かした分かりやすい展示を行ってまいります。

また、体験型、情報提案型の事業を主体としてかっぱ館のリピーターをつくらせたいと思います。

あと、下から3つ目になりますが、地域住民組織や竜東エリアの公民館、市の商工観光課等と連携して住民の健康と地域振興に貢献できるような取組をしてまいりたいと思っております。

3 すずらん公園でございます。

こまかっぱ噴水の設備や児童遊具が改装されたことによって家族連れが多く訪れております。公園全体の景観整備を市の都市計画課と連携しながら実施し、いつ来てもきれいな公園であるような管理をしてまいりたいと思っております。

それから、4 財団の奨励賞ですけれども、21回を迎えます。駒ヶ根市における文化芸術の振興と文化的環境の充実を図ることを目的に、個人または団体を表彰してまいりたいと思っております。

続きまして、1ページ飛ばしていただいて14ページになります。

収支計画の総括表になります。

この中で支出の金額が大きく変動しているものについて説明をさせていただきたいと思っております。

1つは、事業の文化会館、一番上の枠のところになりますけれども、収入、支出、一番右側の指定管理料が1,000万円でございます。100万円増額してございます。

コロナ禍がありまして収入の見込みがなかなか立たなかったというようなところもありまして令和4年度までは900万円の事業予算でやっておりましたけれども、コロナ後を見据え、コロナ禍前の1,000万円に事業費を戻しまして、市民の方に多くの芸術鑑賞の機会を提供してまいりたいというふうに考えております。

それから、下のところ、施設管理の部分になりますけれども、その部分の支出の欄、人件費の欄と退職手当の欄ですけれども、それぞれ人件費が1億1,368万4,000円、退職手当が273万6,000円ということで、180万円余、それから398万円余が減額になっているのですけれども、これは、令和4年度には退職者がありまして、令和5年度は退職者がいないということがございまして、その部分の予算の減額でございます。

また、その下の5 光熱水料費が1,700万円と595万円余の増、それから燃料費が1,128万円と314万円余の増加になっておりますけれども、こちらのほうは今般の電気料や燃料費等の高騰による増加が見込まれるということで増額してございます。

以上、文化センターに関係する予算でございますけれども、一番右の下の欄になります。指定管理料が7,526万1,000円、市の補助金が1億1,712万8,000円の予算で令和5年度は実施してまいりたいと思っております。よろしくお願いをいたします。

以上でございます。

○本多教育長 文化財団の事業計画及び予算について、どこからでも結構ですが、御質問、御意見がございましたらお願いします。――よろしいでしょうか。

〔発言者なし〕

○本多教育長 特になければ、報告事項でありますので御承知おきいただければというふうに思います。よろしくをお願いします。

## (2) 令和5年度一般財団法人駒ヶ根市給食財団の事業計画及び予算について

○本多教育長 続きまして令和5年度一般財団法人駒ヶ根市給食財団の事業計画及び予算について、お願いします。

○赤羽子ども課長 それでは、引き続きよろしくお願ひいたします。

資料20ページからになります。

一般財団法人駒ヶ根市給食財団の第13期、令和5年度の事業計画でございます。

まず、給食財団は、安全・安心でおいしい給食、思い出に残る給食づくりに取り組むとともに、食育事業に協力してまいります。

また、令和5年度は平成24年4月から赤穂学校給食センターにおいて昼食調理業務を始めてから12年目となります。

今期は新たに北割保育園の給食調理業務を始めることとなり、保育園、幼稚園を合わせて5園と3か所の学校給食センターによる全小中学校の給食調理業務を行ってまいります。

1の運営方針でございます。

運営方針としましては、関係機関と連携し学校給食、幼稚園・保育園給食に関する調理業務を行うこと、衛生管理を徹底し安全・安心な給食調理に努めること、そして食育推進への協力、食材への地元農産物の利用促進に協力をいたします。

2の業務計画でございますが、1の運営方針に沿いまして、引き続き学校給食センター及び幼稚園、保育園の給食調理業務、各種研修への取組と食育推進のための事業に協力することとなっております。

詳しい具体的なものにつきましては括弧の中にそれぞれ記載されております。後刻御覧ください。

続いて21ページのほうに収支の予算書がございますので、そちらを御覧ください。

1番の一般正味財産増減の部。

1 経常増減の部。

(1) 経常収益の受取補助金等、受取地方公共団体補助金につきましては予算額1億5,240万円で、これは市からの補助金でありまして、財団の職員46名分の人件費に充てておるもので、本年度新たに受託する保育園1園2名の人件費が加わり、定期昇給等もあることから、前年度比1,021万2,000円の増額となっております。

(2) の経常費用でございますが、予算額1億5,591万9,000円で、前年度より1,119万5,000円余の増加となっております。

増減した主な科目でございますが、給料手当は予算額が1億870万9,000円で637万円余の増加となり、臨時雇用賃金が2,084万3,000円で前年比302万円余の増加となっております。これは、先ほど経常収支収益の部でも説明いたしました新たに受託する保育園給食への人員増加等によるものでございます。

また、法定福利費、消耗品費、委託料の増加につきましても同様の理由でございます。

22ページであります。こちらのほうは機器の増減を記したものでございますけれども、こ

ちらに 300 万円とございますけれども、これは設立時からの市からの拠出金でございます。変わっておりません。

以上が事業計画及び予算の説明でございます。

お願いいたします。

○本多教育長 給食財団の令和 5 年度の事業計画並びに予算につきまして御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

○木下委員 1 点いいですか。

○本多教育長 はい。お願いします。

○木下委員 数字的なことではないのですけれども、今年度もいろいろちょっとお話を伺ったので提起をさせていただいたのですが、残食の問題です。そういうことをなるべく減らしていただくような工夫を職員一同で行っていただきたいなということです。

結構、聞いてみると、学校によっては、うちは高学年の残りはないよと、取り合いで食べているよというところもありましたし、学校によってばらつきがなるべくないように、しっかり食べて成長につながるよう御尽力いただきたいと思います。

○本多教育長 それについて何かありますか。

○赤羽子ども課長 それぞれの学校の残食のデータがちょっと手元にはないのですけれども、そのように心がけていきたいと思います。

○本多教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言者なし〕

○本多教育長 では、これも報告事項ですので御承知おきいただければと思います。

### (3) 令和 5 年度子ども課年間事業計画（年暦）について

○本多教育長 続きまして令和 5 年度子ども課年間事業計画について、お願いします。

○竹田教育総務係 皆さんの机にお配りしておきました令和 5 年度の子ども課に関する状況です。

各小中学校の主な行事、それから保育園、幼稚園の関係、教育委員会の関係の行事であります。

以上です。

○本多教育長 見たところ、3 月の 13 日が中学校の卒業証書授与式で 14 日が小学校の卒業証書授与式ということで、ちょっと例年より幾らか早いような気がします。

○木下委員 何か入試の関係でしたかね。

○本多教育長 ああ、入試の関係が 14 か 15 日に書いてあります公立高校の追試験というやつが、当初は 14 日と言っていたのが 15 日もですという連絡が入りましたので、急遽変更になって幾らか早まったということでございます。

当初は 15 日が中学校の卒業式で 18 日が小学校の卒業式という感じだったのですが、追試験とダブってしまいますので、それを無視してやるわけにはいかないなので、そんなことで調整をして、小中の 7 校の校長のほうでも承知しておりますので、そんなことでありますが、よろしくお願いします。

この年間の予定表、これを基にして各学校、家庭も動きますので、この年間計画が大きく変わるようだと信用性が失われてしまいますけれども、どうしてもというようなことで何か変更が出

てまいりましたらまた連絡をしたいと思っておりますけれども、こんなことで御承知おきいただければと思っておりますが、よろしく願いいたします。

#### (4) 行事共催等承認申請の専決処分について

○本多教育長 次に行事共催等承認申請の専決処分について、お願いします。

○竹田教育総務係 23ページを御覧ください。

今回は5件の申請がありました。

うち4-138、これが新規のものです。軟式野球チームの体験会です。政治性、宗教性、営利性等は認められません。

もう一つ、4-139ですが、今こちらは協議中となっております。

こちらのほうは平成15年からの記録にはありません。新規の扱いになります。

県内7つの救護施設の交流会だそうです。

それで、会場は駒ヶ根市民体育館を考えているというのですが、こちらのほうは今ワクチン接種会場で使用されていますので、ちょっとその関係もありまして今は一回止めてあります。

以上です。

○本多教育長 説明でございますが、よろしいでしょうか。――何かありますか。

#### (5) 駒ヶ根市教育委員会事務局関係職員人事異動について

○本多教育長 それでは報告事項の最後でございますが、駒ヶ根市教育委員会事務局関係職員人事異動について、お願いします。

○北澤教育次長 通常であれば定例教委のときには4月1日の人事異動が出ているのですがけれども、今年は定例教委が1週間早いので、3月22日の部課長会で発表されるので、今後の送別会とか、そういったところで説明などをまたしていければと思っておりますが、よろしく願いいたします。

○本多教育長 ちょっと遅れているということですが、そんな事情でありますので、御承知おきいただきたいと思っております。

## 7 その他

### (1) 令和5年度市内小中学校入学者数について

○本多教育長 それではその他のほうに行きたいと思っております。

令和5年度市内小中学校入学者数について、お願いします。

○竹田教育総務係 24ページを御覧ください。

3月17日現在の各小中学校の入学者数をそこに入れておきました。

それで、教育委員さんのところには入学式に読む告示のほうも御用意させていただきました。

前日までに人数を確認しますが、もし変わるようであれば、また変更してお知らせしたいと思います。

以上です。

○本多教育長 「はなもも」やなんかはないのだね。

○竹田教育総務係 ええ。たまたま「はなもも」の子がいなかったということです。

○木下委員 そんなことがあるんですか。

○竹田教育総務係 新しく入学がです。

○本多教育長 中学の友組のほうもないんだね。

○竹田教育総務係 友組は、たしか副学籍が友組だったということでした。副学籍2名が友組だったという話でした。

○本多教育長 友組は、あと……

○竹田教育総務係 友組は伊那養護の子ですけれども、その2名の子が、副学籍の2名だったという話でした。そうすると、何名並びに副学籍何名というときに、友組がいれば、そこに友組何名とつけるのですが、それをつけなくていいという話でしたが。

○木下委員 「はなもも」の卒業生3名、1人は飯島の子ですので、たしか3名は東中の友組に上がると言っておったような気がしましたが、だから括弧がついて……

○竹田教育総務係 はい。

○木下委員 この数字が増員になると思いますけどね。

○竹田教育総務係 もう一度確認します。

○本多教育長 何を言いたいかという、今年、東中のほうも友組の子がいたときに、副学籍だったら東中の卒業なのだけれども、席は伊那養護にあるんだけれども、教頭まで校長の代わりに来て、証書の名前だけは書いておいて教頭が読み上げていたわけで、そのときに卒業を認めますということは本来なら言えないのだけれども、同じ校舎の中においてということで、一応対面上、両方呼んで、副学籍ではなかったけれども呼んで卒業を認めますというふうに言ったのですけれども、何かちょっと配慮しなきゃいけないことがあればということで、もう一回確かめて置いてください。

○竹田教育総務係 はい。確かめてあります。大丈夫ですが、もう一回確かめて、また連絡します。

○本多教育長 よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○本多教育長 それでは、また入学式のほうではお世話になりますが、よろしく願いいたします。

入学式の関係で、前回の第2回の定例会、2月28日のときに校長の辞任と着任における教育委員の任務についてということがあったかと思えます。

着任式で校長着任、代理さんになりますかね、式場で先導してもらったり児童生徒への簡単な紹介をしていただいたりする、それ前にもPTAや来賓のところで、あるいは職員の前で説明をお願いすることになるかと思えますけれども、またお世話になりますが、よろしく願いいたします。

ちょっとここにはございませんけれども、入学式関係とかで特に分からないことやちょっと聞いておいたほうが良いようなことがありましたらお願いします。

○福澤教育長職務代理者 着任式は3日に市長室へ行って、それで一緒に行ってそこでやるということですよ。

○竹田教育総務係 着任式というか、辞令交付式です。

○福澤教育長職務代理人 辞令交付式は市でやって、それで、そのまま南小学校と赤穂東小学校、そこへ行って職員の前で報告しなきゃだと、そこまでは一緒に行けということですね。

○竹田教育総務係 そうです。

○福澤教育長職務代理人 今回は2人ですね。

○竹田教育総務係 はい。

○福澤教育長職務代理人 それで、入学式当日はあったかな。

○竹田教育総務係 はい。

○福澤教育長職務代理人 着任式をやったのだったかね。

○竹田教育総務係 やります。

○福澤教育長職務代理人 はい。

○竹田教育総務係 今度は子どもの前で紹介するということです。

○福澤教育長職務代理人 ああ、全体の会でね。

入学式はどうなっているのだったかね。入学式はその後でやるということか。

○竹田教育総務係 はい。

○福澤教育長職務代理人 その通知をくださいね。

○本多教育長 事務局で用意します。

○福澤教育長職務代理人 それと着任したときに紹介文と一緒にね。

○竹田教育総務係 準備できています。

○福澤教育長職務代理人 1日はどこへ行くのかね、着任式。

○本多教育長 私は南小です。

○福澤教育長職務代理人 南小だね。

○竹田教育総務係 はい。

○福澤教育長職務代理人 それじゃ私は赤小だね。

○竹田教育総務係 そうです。

○福澤教育長職務代理人 はい。分かりました。

○本多教育長 南小がいいと言えば急遽交代しますけれども。

○福澤教育長職務代理人 いやいや、とんでもないです。(笑声)

○本多教育長 一応、前々回ですかね、そんなことで説明してあります。お世話になります。よろしくお願いします。

○福澤教育長職務代理人 3日は……

○木下委員 3日の辞令交付は教育委員もみんな来ましたかね。昨年、ちょっと私は来られなかったのですが……

○竹田教育総務係 辞令交付は……

○福澤教育長職務代理人 人数は2人だったね。

○本多教育長 代理さんだけで……

○福澤教育長職務代理人 2人でいいね。

○竹田教育総務係 教育委員さんが全部そろうのは、紹介の午後の職員歓迎会です。

○木下委員 去年は学校でどういう事情があったのか……

- 福澤教育長職務代理者 去年は大勢だった。人数が多い。
- 木下委員 今年はよろしいわけですね。
- 竹田教育総務係 はい。
- 本多教育長 来年度も退職がお二人、もう長い人がいるから3人くらいになるかな。
- 木下委員 ああ、そうですか。
- 本多教育長 退職が2人と決まっております。
- 唐澤委員 卒業式のとくに、ちょっと令和5年度の入学式から地域とか来賓の方が見えると聞いたのですけれども、そういう方向ですか。
- 本多教育長 細かいことははっきり言わないけれども、多分そういう方向でというようなことはちらちらと、校長によっては、やい、どうするのだと聞くと、何とか普通にしたいとは言っていましたけれども、春休みにどうなるかにもよるのだけれども、もう腹を決めないと動けないものね。一応来賓は見えるというふうに思っていただけだと思います。見えなければ簡略になるだけなのでね。
- 竹田教育総務係 それを確認してから知らせますね。すぐ確認できるので。
- 唐澤委員 直接は関係ないですけれども、また知らせてください。
- 本多教育長 小学校は、赤小と東小あたりがでかいので、5・6年だけとか、そんなような感じで、今は保護者が2人セットで来るので、しかもそれで子どもたちの席の間を空けたりすると、もうそれで目いっぱいになっちゃいますからね。だけど、もう全部来るということは前提ということですので、不安だったらマスクをしてもらってということですよ。
- まだちょっと時間がありますので、細かい疑問に思うことや不安だというようなことがありましたら、事務局はずっと空いているかと思いますが、よろしく願いいたします。
- 以上で予定していた議題は終了しましたが、全体を通して何かございますか。
- 福澤教育長職務代理者 年間の予定表ですが、定例教育委員会の予定の6月と10月かな、見落としかな……
- 竹田教育総務係 すみません。落ちてしまったかもしれません。もう一回出しますので、お願いいたします。
- 福澤教育長職務代理者 ああいいよ、先のことだから。
- 本多教育長 ほかにはよろしいでしょうか。——よろしいですか。
- 〔「はい」と呼ぶ者あり〕

## 8 閉会

- 本多教育長 それでは、これで令和5年駒ヶ根市教育委員会第4回定例会を終了します。
- ありがとうございました。

午後2時57分 閉会



---

駒ヶ根市教育委員会会議規則第25条の規定によりここに署名する。

令和 年 月 日

駒ヶ根市教育委員会

教 育 長

\_\_\_\_\_

教育長職務代理者

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_

委 員

\_\_\_\_\_